

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52501	保育・教職実践演習(幼) Childcare and educational practice	児玉・服部・太田	✓	共通	2	必修	2年後期
科目の概要							
<p>保育者としてさらに実践力を高めるため、本科目においては、保育実践力、学級経営力、地域における保育コーディネート力を中心とした授業内容とする。幼児教育及び保育の現場で活躍するための専門的知識や技能を、協調性をもって柔軟に活用できるように学ぶ。演習を中心として、模擬保育やグループ討議等における主体的な活動を通して、保育者としての使命感や責任感を養う。★幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① これまでの学修や実習を振り返り、保育者としての自分の課題を発見し、さらに高い保育実践力を身に付ける。 ② 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付ける。 ③ 地域の子どもたちや保護者への支援について、ホスピタリティーの視点で考える。 ④ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付ける。</p>				<p>① これまでの学修や実習を振り返り、保育者としての自分の課題を発見し、さらに高い保育実践力を身に付けることができる。 ② 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付けることができる。 ③ 地域の子どもたちや保護者への支援について、ホスピタリティーの視点で考えることができる。 ④ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付けることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題意識を持ち、グループワーク等、自主的に参加することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	グループワークや発表において、課題を期限に提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	毎回の授業において自分の課題を発見し、課題解決に向けて努力することができる。					
	計画力						
	創造力	模擬保育において適切な素材による教材制作をすることができる。					
チームで働く力	発信力	実践演習の保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きができ、また、自分の意見をまとめ他者にわかりやすく発信する。					
	傾聴力	他者の言葉に集中し、自分と異なる意見を謙虚に受け止める姿勢を持つことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：教員作成プリント等 参考文献：保育・教育に関する実践事例集 「幼稚園教育要領解説」文部科学省・「保育所保育指針解説書」厚生労働省・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：すべての教科 資格との関連：幼稚園教諭二種、保育士、准学校心理士、認定絵本士</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
現場に立つ保育者として必要な実践力をできるだけ身に付けていく授業である。保育者、先生としての意識を持って授業に参加すること。				<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてふさわしい受講態度を毎回守ること。 ・授業の雰囲気を作るのは、全員の参加態度であることを意識して授業に臨むようにすること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	40	①		✓	授業で提示された課題レポート 授業振り返りシート 外部講師授業での学びのレポート
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①		✓	プレゼンテーションや模擬保育における発表内容等 模擬保育に対する取り組み 絵本からごっこ遊びへのシナリオ おはなし会の構成台本
				②		✓	
				③		✓	
				④			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）課題意識を持ち、授業活動に自主的に参加することができる。 （実行力）発表等に向けて、課題を期限内に提出することができる。 （課題発見力）毎回の授業において自分の課題を発見し、課題解決に向けて努力することができる。 （創造性）模擬保育において適切な素材による教材制作をすることができる。 （発信力）ディスカッション等で積極的に意見を発信することができる。模擬保育等では、保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きができる。 （傾聴力）他者の言葉に集中し、自分と異なる意見を謙虚に受け止める姿勢を持つことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が90%以上をS(秀)の基準とする。 レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が80%以上90%以下ををA(優)の基準とする。	レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が70%以上、80%未満をB(良)の基準とする。 レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が60%以上、70%未満をC(可)の基準とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の目的と意義について学ぶ。実践的な指導力や手法を習得するための実践演習の授業内容について学ぶ。 (児玉・太田・服部)	講義(全体)	授業の目的と意義、内容を理解し、授業の学びに対し、課題意識を持つことができる。	(予習) 授業内容の把握 (復習) 次の授業について予習をしておく。 指導計画作成等	180	主体性 傾聴力 規律性
2	教育現場での教育者の実践的な指導を通して、保育者として望ましい姿を学ぶ。集団遊びにおける言葉かけや雰囲気創りについて実践的に学ぶ。 (児玉・太田・服部・外部講師)	演習(G1・G2) 質疑応答	本日の学びをレポートにまとめ提出	(予習) 集団遊びについて調べておく。 (復習) 授業内容の復習を行い、感想レポートを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	絵本の世界を広げる技術③ 絵本に関わる情報を収集し、その整理方法を学ぶ。絵本に関する知識を生かし、要望に応じた提案技術を習得する。 (ゲストスピーカー・太田・児玉・服部)	外部講師による講義を聞く。レポート提出。レポートの解説によるフィードバックする。 (A・B・Cクラス合同授業)	絵本に関わる情報を整理し、情報を伝えることができる。 期限までにレポートを提出できる。	(予習) 認定絵本土養成講座テキストpp.102-107を通読する。 (復習) 模擬練習をし、提案方法をまとめる。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
4	絵本のある空間 子どもにとって魅力的な絵本に関する空間やレイアウトについて理解する。 (ゲストスピーカー・太田・児玉・服部)	外部講師による講義を聞く。レポート提出。レポートの解説によるフィードバックする。 (A・B・Cクラス合同授業)	魅力的な絵本のある空間を理解し、園で活用できる。 期限までにレポートを提出できる。	(予習) 認定絵本土養成講座テキストpp.154-159を通読する。 (復習) 講義内容の感想と園をイメージしレイアウトをレポートにまとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	絵本から劇遊びに展開する方法を修得する。子どもの発達過程に合ったシナリオを作成する。 (太田・児玉・服部)	グループワーク シナリオの解説を通してフィードバックする。 (A・B・Cクラス別授業)	子どもの発達を理解した意見が言える。自分の役割を果たし協同してシナリオを作成できる。	(予習) 様々な絵本を読み、劇に適したものを調べておく。 (復習) 助言を反映させたシナリオの再構築をする。	180	実行力 創造力 規律性
6	絵本から劇遊びに展開し、模擬保育を実践する。 (太田・児玉・服部)	グループ発表 評価反省としてフィードバックする。	子どもの発達を理解した劇遊びを構築できる。 絵本の世界観を演じることができる。	(予習) 自分の役を演じることができるようにしておく。 (復習) 評価反省を反映し、シナリオの再検討をする。	180	実行力 創造力 発信力 規律性
7	家庭との連携 事例に基づき、保護者からの相談や要望への対応について、グループ発表及びディスカッションを通して検討する。 (服部・児玉・太田)	グループ発表 ディスカッション 発表内容に対しコメントしフィードバックする。	さまざまな不安を抱える保護者の心情を理解し、相談や要望への適切な対応について、意見を述べることができる。	(予習) これまでの実習で観察した保護者への対応を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
8	安全管理と事故防止 園外活動での安全管理について、園で活用されているマニュアルを参考にディスカッションを通して検討する。 (服部・児玉・太田)	ディスカッション ディスカッションの内容を総括し、フィードバックする。	園外活動で起こりやすい事故の事例を知り、事故防止のための対策について、意見を述べるができる。	(予習) これまでの実習で経験した園での安全管理の体制を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	関係機関との連携 (1) 事例に基づき、虐待の恐れのある家庭への対応について、ディスカッションを通して検討する。 (服部・児玉・太田)	ディスカッション ディスカッションの内容を総括し、フィードバックする。	虐待防止のための関係機関との連携のあり方について、意見を述べるができる。	(予習) これまでに学修した被虐待児童への対応を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
10	関係機関との連携(2) 子どもへの暴力防止プログラム(CAP)に携わるNPOの方々によるワークショップを通して、子どもにとって安全で安心できる地域社会づくりについて検討する。(服部・児玉・太田・外部講師)	演習 ワークショップ	CAPのワークショップの特徴を理解し、感想を述べるができる。	(予習) 虐待防止に関する地域の関係機関を調べておく。 (復習) ワorkshopを通して学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	おはなし会の手法①(おはなし会を開こう) おはなし会について学ぶ。音楽やストーリーテリング等とのコラボレーション手法を学ぶ。手遊び、ペープサート、人形等を取り入れた手法と効果について学ぶ。おはなし会のプログラム作成及び運営を体得する。 (児玉・太田・服部)	模擬保育	おはなし会の手法について理解できている。 おはなし会のプログラム作成や運営ができるようになる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストpp.128-133を通読する。おはなし会に読み聞かせさせる絵本を選択しておく。 (復習) おはなし会のプログラムを完成させる。30分(レポート)	180	実行力 課題発見力 状況把握力
12	おはなし会の手法②(おはなし会のテクニック) グループによるおはなし会の実践を通して、おはなし会のテクニックについて理解し体得する。 (児玉・太田・服部)	模擬保育 グループ発表 全体ディスカッション	おはなし会の準備や運営ができる。様々な表現と組みあせたおはなし会の効果について、体得することができる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストpp.134-141を通読する。グループでのおはなし会が実施できるように練習しておく。 (復習) ディスカッション内容を含め、授業振り返りシートに記入し提出する。30分(レポート)	180	実行力 課題発見力 状況把握力
13	絵本の持つ力(様々な角度から絵本を見る) 絵本の影響力について、多様な視点から考え、絵本を多面的な視野から読み力を修得する。 (児玉・太田・服部)	講義 全体ディスカッション	絵本の持つ影響力を多面的に理解することができる。絵本の影響力について、多面的な視野から読む力を修得することができる。	(予習) 絵本の影響の功罪とは何か、考えまとめておく。認定絵本士養成講座テキストpp.142-147を通読する。 (復習) ディスカッション内容を含め、授業振り返りシートに記入し提出する。	180	実行力 課題発見力 状況把握力
14	ホスピタリティに学ぶ 民間施設等で子どもたちが持つ力を引き出す取り組みについて学ぶ。経営面から見た対象年齢・興味関心事項の分析について学ぶ。 上記の分析をもとにした具体的な表現方法・活用方法について学ぶ。 (ゲストスピーカー・太田・児玉・服部)	講義 質疑応答	・民間施設等で子どもたちが持つ力を引き出す取り組みについて理解することができる。 ・子どもたちの対象年齢や興味関心事項の分析を活かした具体的な取り組み方について理解できる。	(予習) 子どもたちを対象とした商業施設にはどのようなものがあるか調べておく。認定絵本士養成講座テキストpp.172-177を通読する。 (復習) ゲストスピーカーの講演を振り返り、新たな発見や感想等、レポートしてまとめ、提出する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
15	絵本が生まれる現場① 絵本作家の観点からみた絵本ができるまでの過程について学ぶ 絵本作家の講義を通して、作家が読み手に伝えたい思いを理解する。 講義90分・課題レポート30分 (ゲストスピーカー・太田・児玉・服部)	講義 授業内容の振り返りと質疑応答	絵本作家の観点からみた絵本ができるまでの過程について理解することができる。 絵本を通して、作家が読み手に伝えたい思いを理解することができる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストpp.178-183を通読する。 (復習) ゲストスピーカーの絵本の視聴覚表現や言語表現の魅力について考え、まとめる。30分(レポート)	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
16	絵本が生まれる現場② ゲストスピーカーである絵本編集者の講義を通して、絵本編集者の仕事の内容や役割について理解する。また、絵本の基本的な構造や編集過程について理解する。 講義90分・課題レポート30分 (ゲストスピーカー・太田・児玉・服部)	前回の授業内容の振り返りと質疑応答 講義	絵本編集の仕事の内容や役割を理解し、感じたこと、考えたこと等をレポートしてまとめ、提出することができる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストpp.184-189を通読する。 (復習) 講義の振り返りレポートを完成させ提出する。30分(レポート)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	ディスカッション(認定絵本土としての今後の活動) 認定絵本土に求められる資質及び技能について学ぶ。認定絵本土の活動の可能性や課題について討議し、発表する。 (児玉・太田・服部)	講義 グループディスカッション 全体ディスカッション	認定絵本土養成講座で修得した知識・技能・感性を活かした今後の活動計画を発表することができる。 認定絵本土の責任や役割について理解することができる。	(予習) 認定絵本土養成講座テキストpp.190-195を通読する。 (復習) ディスカッション内容を含め、授業の振り返りシートに記入し提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
18	幼保小連携講演(外部講師) 授業振り返り (児玉・太田・服部)	講義 幼保小に関連した専門用語や意味を学ぶ。 全体ディスカッション	幼保小の連携で現在考えられていることは何かを学ぶことにより、就学前の子供たちの育ちに必要なことは何かを理解することができる。	(予習) 幼児教育から小学校へ進学するときの子どもの期待感・不安感について考えておく。 (復習) 講演内容の振り返りレポートを提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力